

大麦特報 (第4号)

平成30年4月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

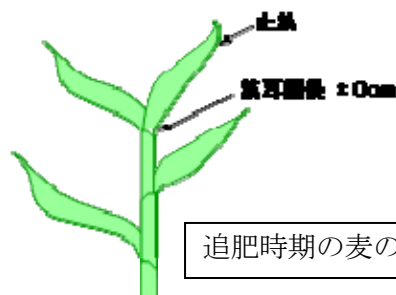
本年の大麦の止葉展開期は、今後、平年より高い気温で推移した場合、平年並みの4月8～11日（出穂期は4月19～22日頃）となる見込みです。
ほ場ごとに生育状況を確認し、赤かび病の防除などの適期作業に努めましょう。

止葉展開期追肥

・大麦専用基肥一発肥料を施肥したほ場では、原則として追肥しない

【分施肥系ほ場の追肥の目安】

葉色	m ² 当たり茎数	10a当たり施用量	追肥時期
5未満	670本未満	硫安 5～10kg	4月8日 ～11日
	670本以上	硫安 5kg以内	
5以上		追肥しない	



追肥時期の麦の姿

赤かび病の防除

重点防除対象の赤かび病は、特に1回目の防除が効果に大きく影響します。播種・出穂時期ごとに開花状況を確認し、適期に防除しましょう。

なお、赤かび粒の混入限度は0.0%と厳しく定められています。必ず2回の防除（穂揃期とその7日後）を徹底し、赤かび病の発生を防止しましょう。

【防除体系及び農薬名】

粉剤体系	1回目:穂揃期(4月22日～25日頃) トップジンM粉剤 DL (4kg/10a)	+	2回目:1回目散布の7日後 ワークアップ粉剤 DL (3kg/10a)
	液剤体系	1回目:穂揃期(4月22日～25日頃) トップジンM水和剤 (1500倍 150 μ g/10a)	+

※可能な限り防除効果の高い液剤で防除しましょう。

※無人ヘリコプター散布の希釈倍率は異なるので注意しましょう。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

排水対策

排水不良のほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。ほ場を確認し、排水溝の手直し等によりすみやかな排水に努めましょう！

春の農作業安全運動 (4月1日～5月31日)